

9月の行事予定		
1	水	運動会練習日
2	木	誕生会・お楽しみ献立
3	金	体操教室 運動会練習日
4	土	
5	日	
6	月	身体測定
7	火	のびのび英会話
8	水	運動会練習日
9	木	運動会練習日
10	金	運動会練習日
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	運動会練習日
15	水	運動会練習日
16	木	運動会練習日
17	金	避難訓練
18	土	
19	日	
20	月	敬老の日
21	火	運動会練習日
22	水	運動会リハーサル
23	木	秋分の日
24	金	運動会リハーサル
25	土	
26	日	
27	月	園だより・給食・クラス便り配布 運動会練習日
28	火	運動会リハーサル
29	水	運動会練習日
30	木	運動会練習日

今後の保護者会活動

◆秋季大運動会について◆

今年度も、例年通りの予定で運動会が開催出来ません。どのような方法で行えるか、検討中です。内容変更は、出来るだけ早くご連絡致します。また、第3回役員会は中止と致します。

お知らせ

◆コロナ感染症のデルタ株の感染が強く、保育園でも、クラスターが出ている話を良く耳にします。保護者の皆様の協力のもと、今の所そのような事はありません。また、小さなお子さんにも感染発生する可能性が高いとも言われていますので、お子さんを含め家族が「体調不良」の時は、家庭での保育にご協力お願い致します。



ふじほだより

2021年

9月

8月26日

お誕生日おめでとう

- ・なら みりあ さん (4さい)
- ・ひろき みそら さん (3さい)
- ・いかり かえで くん (2さい)
- ・かめやま いぶき くん (2さい)
- ・いいだ いつき くん (2さい)

新型コロナウイルス感染症が増え始め、先が見えない日が続いていますね。大人たちの心が沈む中、子どもたちの楽しい会話や仕草に心が癒やされている毎日を過ごしています。子どもたちの笑顔は、パワーがありますね。

さて9月に入ると、秋の運動会に向けて少しずつ遊戯やかっここの練習が始まります。また、この時期は、夏の疲れが出やすいので一人ひとりの体調に気をつけながら無理なく練習に臨むんで行こうと思います。なかなか外での練習も、思うように出来ないかもしれませんが、本番では元気な頑張りを見せてくれることでしょう。温かく見守っていただければ幸いです。

保育目標

あか組

- ◆一人ひとりの発達や興味にあった遊びの中で、探索や模索を楽しむ。
- ◆自然に触れたりしながら保育士や友達と一緒に体を動かし遊びを楽しむ。

みかん組

- ◆保育士や友達と一緒にのびのびと身体を動かす事を楽しむ。
- ◆探索遊びを通して様々な物に興味を持ち、秋の自然に楽しく触れる。

ふじ組

- ◆運動会練習や戸外遊びを通して、保育士や友達と一緒に全身を使った動きや表現を楽しむ。
- ◆食事や着脱、手洗いなどの生活や、様々な遊びに意欲的に取り組もうとする。

そら組

- ◆行事に向けて制作や運動遊び、ダンスを楽しみ行事への期待を持つ。
- ◆季節の変化に気づき、秋の食材や昆虫・植物などの自然に関心を持って触れる。

もも組

- ◆運動会に向けて友達と同じ目的を持ち、一緒に取り組み、やり遂げた喜びを分かち合う。
- ◆活動と休息のバランスに気を付けながら、快適に過ごせるようにする。

きいろ組

- ◆運動会の練習の中で、友達と助け合ったりして競争する楽しさを知る。
- ◆自然に触れながら夏から秋への季節の移り変わりに気づき、興味や関心を持つ。

運動会練習日

ふじ組以上児の「運動会練習日」は、園庭にて合同で行います。クラスによっては種目の内容や天候で行わないこともあります。練習日と記載されている日には、体操着又は運動しやすい服装や運動靴での登園をお願いします。かけっこや競技の練習が始まります。サンダルや、おしゃれ靴での登園は避けて下さい。
※練習の都合上、9時までに登園して下さい。ご協力をお願いします。

運動靴・体操服・カラー帽子について

- ☆運動会当日は、普段はき慣れている運動靴での運動会参加となりますが、靴のサイズがお子さんの足にあった運動靴での参加をお願いします。(靴には名前を忘れずに・・・)
- ☆カラー帽子のゴムが伸びているお子さんが目立ちます。ゴムの確認、付け替えをお願いします。
- ☆体操服が小さくなっているお子様は、担任にご注文下さい。

魔法のことはば

子どもが転んでしまい、「いた〜い」と言って泣きべそをかきました。 そんなとき...



子どもは、ただ痛かったので「痛い」と言っただけです。嘘を言ったわけではないではありません。子どもの「痛い」という言葉をそのまま認め、まず何らかの共感言葉をかけます。すると子どもは、認めてもらえたとし、自分の言葉が受け入れてもらえた満足感で心に余裕が生まれ、今度は相手がいう言葉を受け入れる準備ができます。「大丈夫かな?」「我慢できるかな?」などの言葉にもきつとうなずくようになると思います。大人でも、自分が痛い目に遭ったとき「大丈夫?」のひとつで、痛みが軽減されるものです。